

【演習事例】

氏名：富士達也さん（23 歳）

障害：軽度の知的障害（B2）

サービス種別：就労継続支援 B 型と共同生活援助を利用し1年半経過

富士さんは特別支援学校の高等部を卒業後、製造部品を作る工場に就職したが、1年半で退職。富士さんは父親との二人暮らしであったが、父親の体調が悪化したことによって今までの暮らしが困難となり、障害福祉サービスを利用することになった。一人暮らしと一般就労を目指し、共同生活援助事業（ピアハウス）で生活し、就労継続支援 B 型事業所（スマイル）を利用している。

スマイルでは手先の器用さを活かした菓子箱の組立や、金属部品の組立ができていた。休憩時には昆虫好きの担当職員と一緒に図鑑を見たり、事業所周辺の昆虫を観察することが好きだった。利用から1年が経った頃には、他の軽作業にも挑戦してみたいとの要望もあった。

ADL はほぼ自立しており、意思疎通は富士さんからの訴えはほとんどないが、困った時は「困ったカード」を使用し、意思表示していた。職員が話しかけるとボソボソと返答をし、会話の理解力については「はい、はい」と返事をするため分かっているように見えるが、理解はできていないことが多かった。

そんなある日、富士さんがスマイルを利用した時からの担当で、一番に信頼していた職員が3月中旬で出産休暇に入ることになり、現在は別の生活支援員が富士さんの担当をしている。他の職員も異動や退職などで入れ替わることが多く、利用開始当初からの富士さんをよく知る職員はいなくなってしまった。3月初旬に行った個別支援計画の見直し時には、新たな軽作業にも取り組んでいくとしていたが、担当の変更により、実行はできていない状況である。

現在、富士さんはスマイルには通っているものの、ほぼ一日中トイレにこもり、活動や食事時間などの1日のプログラムに参加できずに過ごしている。担当職員が代わった頃、活動中に一度便失禁を起こすことがあった。本人からの訴えはなかったが、職員が気づき更衣を促した。また、以前は使用していた「困ったカード」も最近は全く使用していない。富士さんの担当職員は「本人が好きでトイレにいるのだから」と、現状についてあまり気に留めていない様子。

この度、サービス管理責任者は、体調不良で8月末で退職となり、異動により9月1日からサービス管理責任者としてスマイルに着任したてのあなたは、事業所の現状に何となくよくない空気を感じた。富士さんの個別支援計画書【資料2】を確認したところ、長期目標に「一般就労に向けて、働くための力をつけつつやりがいを見つけ、自信を取りもどせるように支援します。また、困ったときには自分から相談できるように支援します。」となっていた。

▼スマイルでの過ごし方

時間	スケジュール	現状
9:00	ピアハウス (GH) 出発	徒歩
9:30	スマイル到着 → 更衣 → 朝礼 → 作業準備 → 軽作業 (組み立て等) ※適宜休憩	更衣が終わるとトイレで過ごす
12:00	昼食	食堂に人がいなくなる頃から食べ始める
13:00	軽作業 (組み立て等)・創作活動・レクリエーションのいずれか	食事が終わるとトイレで過ごす (まれに軽作業には参加できることがある)
15:30	作業終了 → 更衣 → 活動記録記入 → 終礼	以前の活動記録には「もっと色々な軽作業がしたい」などが記入されていたが、最近 は空欄がほとんど
16:00	スマイル出発	徒歩

スマイル（就労継続支援 B 型事業） 個別支援計画書

利用者氏名： 富士 達也 様

作成年月日 令和 4 年 3 月 〇〇 日

【本人の意向】

父親には今まで世話になったので、迷惑はかけたくない。普通に仕事をして、自分のことは自分でできるようになり、いずれは一人暮らしがしたいと思っています。今は朝も起きられないし、働く自信もないので、そのための準備をしたいです。また、困った時は相談をしたいけど、うまく伝えるのが苦手なので、うまく伝えられるようになりたい。昆虫や野球の話ができる友達がほしい。

【総合的な支援の方針】

就労継続支援 B 型を利用することで、生活のリズムを整え、就労場面で必要なスキルが身につくように支援します。できることが増えることで、ご本人の自信につながるように支援します。

【長期目標】

一般就労に向けて、働くための力を付けつつやりがいを見つけ、自信を取り戻せるように支援します。また、困った時には自分から相談できるように支援します。

【具体的な支援内容等】

ニーズ 解決すべき課題)	短期目標	具体的な支援内容 (配慮・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間)	場所	担当者	優先 順位
もっといろいろな作業に 取り組みたい。	組み立て作業以外にも取り 組めるよう支援します。	・手順書を用いて説明をします。 ・慣れるまではスタッフが見守ります。	月～金 9:30～12:00 (3 か月)	作業場所	職業指導員	1
新しい友達と楽しく過ごし たい。	新しい友達をつくり、昆虫や 野球の話ができるように支 援します。	・行事の際は参加を促します。 ・休憩時間は他の利用者とは過ごせるように配慮し ます。	月～金休憩時間 (3 か月)	休憩スペース	職業指導員 生活支援員	2
困ったり、不安な時には、 自分から相談できるように なりたい。	困ったり、不安なことがあれ ば、自分から相談でき るように支援します。	・困った時には「困ったカード」で意思表示できる ようにカードを作成します。 ・不安が大きい様子の時は声をかけます。	常時 (3 か月)	相談室	サビ管 職業指導員 生活支援員	3

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

確認年月日： 令和 4 年 4 月 〇 日

利用者氏名 富士 達也 印

説明者（サービス管理責任者）氏名 〇〇 〇〇 印